

Kochi

Keikyō

11 | 2022
November

Vol.494



株式会社ミットヨ

01 トップインタビュー

“MADE IN KOCHI”で
世界一を目指します！

株式会社ミットヨ 高知工場 工場長 神寶 信之氏

03 青年経営者部会

04 労務管理者協議会

06 四国経済産業局の受託事業

07 私事通信

09 最近の労働判例から

10 経協だより・編集後記



トップインタビュー vol.164

株式会社ミットヨ

Mitutoyo



高知工場 工場長
神寶 信之氏

■今回は、世界最高品質の精密測定機器を全世界に供給する、株式会社ミットヨ 高知工場の神寶工場長にお話を伺いました。

■ 御社をご紹介します。

株式会社ミットヨ高知工場の経緯をお話するには、株式会社高知ミットヨの社歴から説明しなければと思います。

株式会社高知ミットヨは昭和52年に、三豊製作所（現 株式会社ミットヨ）広島工場の協力会社として高知県高岡郡大野見村に株式会社大野見精密として設立しマイクロメータヘッド専門工場としてスタートしました。その後、平成元年に株式会社高知ミットヨへ社名変更し、株式会社ミットヨの連結子会社となりました。そして平成29年に創立40周年を機に、新たな事業計画を検討開始し、令和2年事業拡大のため香南市に工場用地を取得。令和4年株式会社ミットヨの10番目の工場として出発することになりました。



今回の合併及び香南市へ工場移転を決断した経営に関して神寶工場長のお考えを、お聞かせください。

弊社は『精密測定で社会に貢献する』という経営理念を掲げ

社是
良良良
いいいい
技術人間環境

ローバルにビジネスを展開している企業です。

沼田社長が5年前に弊社の社長に就任されて以降、Made in Japanでのモノづくりの方針を打ち出してから、順次海外工場を閉鎖し約5,500品種の精密測定機器を国内10工場に集約する生産体制を整えた判断は、コロナ禍や現在の円安先行の経済状況からもグローバルにビジネスを展開していくうえで正しかったと思います。

この20年余り衰退の一途をたどっている日本のモノづくりを改めて盛り上げていくために工場のひとつを預かる立場として日々業務に取り組み、日本の製造業、モノづくりの再発展に貢献していきたいと考えています。

■ 神寶工場長が目指す工場とはどのような工場でしょうか？ お聞かせください。

弊社で生産するマイクロメータヘッドは主に半導体業界やE/V関連の業界で需要が見込まれ、今後ますます要求が高まる商品です。高知工場の稼働により生産能力を

2倍まで引き上げ、この高知から『部品ビジネスの中核工場』としてグローバルにビジネスを展開していこうと考えています。高知県に地盤を築き、県No.1企業を目指して従業員一同一丸となって精進していく気構えです。



地域貢献についてお聞かせください。

高知工場は、地域・近隣の皆様と一緒に発展していきたいと考えています。当工場近隣には小学校や中学校がありますので、工場見学やモノを測る体験を通じ日本のモノづくりに興味を持ってもらえる子供たちを増やしていくことに微力ながら貢献できたらと思っています。また、当工場は南海トラフ地震やその他の災害に備え、自家発電機や雨水タンクへの水の貯蓄設備も有しています。災害時には従業員のみなならず近隣住民の避難場所としても活用いただくことで地域に貢献したいと考えています。

ぜひPRしておきたいことがありますたら、お聞かせください。

最近企業にもとめられているS

DGsの推進やカーボンニュートラルへの取り組みも行っていきます。

SDGsの推進としては、水の枯渇対策として雨水の利用や省エネ対策として各所に人感センサーの設置、全照明のLED化、断熱仕様の屋根等などの省エネ設備の導入を行い『こうちSDGs推進企業』にも登録されています。

カーボンニュートラルへの取り組みとしては、CO²削減を目的として全使用電力の50%を地産エネルギーである水力発電を使用し『高知家応援でんき』の企業認証を受けており、今後も使用量の比率を高めていくなど積極的に活動を継続していく考えです。

最後に神寶工場長個人のご趣味をお教えてください。

趣味らしい趣味はないのですが、以前は同僚や部下とお酒を飲むことが好きで定期的に行っていましたが、昨今のコロナ禍により自粛を余儀なくされ残念に思っています。

また、一昨年前からゴルフを始めたのですが、最近腰を痛めてしまい現在はお休み中です。来年暖かくなってきたら腰と相談しながら楽しめたらと思っています。

本日はお忙しいところありがとうございました。

株式会社ミットヨ

- 代表取締役社長 沼田 恵明 (ぬまた よしあき)
- 高知工場長 神寶 信之 (しんぼう のぶゆき)
- 昭和48年 7月 生まれ
- 平成9年 3月 帝京大学理工学部卒業
- 平成12年 5月 株式会社ミットヨ入社
- 平成31年 1月 株式会社高知ミットヨへ出向
取締役副社長に就任
- 令和4年 7月 高知工場長に就任

[本社]

- 所 在 〒213-8533 神奈川県川崎市高津区坂戸 1-20-1
TEL:044-813-8201 / FAX:044-813-8210

- 事業紹介/精密測定機器の製造・販売
- 従業員数/単独 2,820名 連結 5,270名
- 資本金/39,100万円
- 設 立/昭和9年10月22日

[高知工場]

- 所 在 〒781-5332 高知県香南市香我美町徳王子 120-1
TEL:0887-52-8181 / FAX:0887-52-9451
- 事業紹介/精密測定工具の製造(マイクロメータヘッド・マイクロメータ等ミットヨ社内製品向け部品加工)
- 従業員数/112名



Youth 01

第47回 経営者協会青年部会 全国大会 in 岐阜に参加

47回 経営者協会青年部会 全国大会 in 岐阜



村尾信尚氏

9月29日(木)・30日(金)の両日、全国大会 in 岐阜が開催され、当部会から15名が参加した。

新型コロナウイルスのため、第45回(石川)・第46回(奈良)の大会が中止となり、3年ぶりに開催された今大会では、200名を超える全国11経協の青年部会会員が参加し、大盛況の大会となった。

岐阜経協青年部会 笠原幸治会長の開会挨拶の後、

関西学院大学教授・NEWS ZERO 元メインキャスターの村尾信尚氏による講演「失敗は挑戦者の証」～animal spiritsのすすめ～を拝聴した。

懇親会は感染防止対策のため、自席での会食となったが、飛騨牛をはじめ岐阜名産の郷土料理に舌鼓を打った。その後、長良川岸へ移動し、伝統の鵜飼を見学、川面に揺れる漁火を眺めながら情緒あふれる光景を堪能した。



2日目のエクスカッションでは、ゴルフ組と観光組に分かれ参加した。観光は飛騨高山の古い街並みを散策

し、ここでも美味しい料理とお酒をいただき、参加者一同岐阜大会を心ゆくまで満喫した。



Youth 02

10月例会 (企業視察)

株式会社フードプラン・池川木材工業有限公司・株式会社ムロオ フジ物流センター

10月14日(金)・15日(土)、10月例会(企業視察)を開催した。参加者10名。

初日は、仁淀川町の(株)フードプラン(代表取締役 森下由朗氏)と部会員企業の池川木材工業(有)(代表取締役 大原栄博氏)を訪問した。

フードプランでは、森下社長よりご説明いただき、カット野菜のパック詰め作業や、四国シェア75%を誇る刺身のつま(大根の「けん」)を削る



工程などを見学した。できるだけ地元産にこだわり、徹底した衛生管理のもと安心安全な野菜を提供している。

池川木材工業では、部会員の大原悠延専務取締役に工場内をご案内いただき、全国シェアNo.1商品の栓のすのこや木質ペレット等の製造工程など見学。「木を無駄なく使い切る!」をモットーに所有の山林から木材の伐採・搬出から製材・加工まで同社で一貫して行われている。



2日目は、松山の(株)ムロオ(代表取締役社長 山下俊一郎氏)のフジ物流センターを見学し、上田松山支店長にご説明を受けながら、広大な敷地にあるチルドセンターやフローズンセンターなどを見学した。ここから毎日約38万ピースの商品が出荷されている。センター内は高速自動バック仕分機など高い出荷精度を誇るシステムで構築され、省人化が図られており、障がい者・高齢者の方などでもできるだけ簡単に作業ができるようになっている。





Report

01 9月例会を開催



当協議会は9月14日に、当協議会メンバーである(株)ラダー経営ネットワーク代表取締役 坂本力氏を講師に招き「企業における人材育成計画」をテーマにセミナーを開催した。参加者は12名。

「労働生産性」を高めるためには社員のエンゲージメントを高める人材育成計画が重要である。そのためには、まず経営理念から「行動の原点」をつくり、そこから全社共通の「求める人材像」や部門固有の階層別「求める人材像」を明確化し、公平性・納得度の高い人事評価制度を構築することが大切である。人事評価制度の内容を社員によく理解してもらったうえでの人事評価結果を本人や担当幹部にフィードバックすることが社員のモチベーションに大きな影響をあたえ、「社員の成長」に結びつくと指導を受けた。

そして最後に 連合艦隊司令長官 山本五十六の『やって見せ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。やっている姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず』の言葉で終了となった。



当協議会は、本年で創立50周年を迎えることとなり、10月7日～9日に、東日本大震災からの復旧が進みつつある宮城県のゼライス株式会社（多賀城市：設立/1941年10月 代表取締役社長/稲井謙一氏）および震災伝承館等の視察を実施。参加者は15名。

総務部次長 北島一浩氏によると、大きな揺れが長く続きはしたが事務所及び工場内の機器や商品が散乱した程度で従業員の安否が確認できたことで、どことなく緊張感が緩んだような感じに陥り、大津波警報が発令されても津波の経験がなかったことから、たいしたことはないだろうと思った従業員が、家族の安否確認のため帰宅を求め始めたことに対し社屋の安全な場所で待機させた決断が、その後事務所周辺に押し寄せてくる2m超の津波からの2次災害を防ぐことに繋がった点や、納品の影響が出る取引先へ速やかに被害状況を報告し対応をお願いしたこと、また事業の早期復旧のため出社可能となった従業員を居住期別に4区画に分け4交代での出社の取組等は大変参考となった。



2日目は、みやぎ東日本大震災津波伝承館（石巻）・東日本大震災遺構・伝承館（気仙沼）・陸前高田の奇跡の一本松・南三陸さんさん商店街を訪問し、震災・津波への警戒心を高め復興に取り組んでいる人々の力強さを実感することができた。



みやぎ東日本大震災津波伝承館



被災後、気仙沼向津高等学校



奇跡の一本松



被災後、南三陸防災庁舎

Report

02 10月例会 / 50周年記念企業視察を開催(能力開発研究会合同)



「仕事の辞め時」



稲垣法律事務所
弁護士
稲垣 健吾 氏

昭和49年寅年生まれ、の弁護士だけで飲む機会があった。その場で、複数の者が「もう弁護士を辞めたい」と言っていた。仕事に飽きた、ストレスの限界である、ゴルフ三昧の生活がしたいなど、理由は様々であった。

私も、時々、仕事の辞め時を考えている。辞めた後は、大学に通って教養を高めるとともに、社会貢献活動を通じて人々との交流を深め、人格のフルモデルチェンジを図りたいと考えている。しかし、以下に述べるとおり、私自身の言動から生じた各方面に対する義務を果たさない限り、仕事を辞められないという制約がある。

1、両親

私が、東京で暮らしていた両親に、「生まれたばかりの孫（私の娘）と一緒に、高知で幸せな老後を送らないか」と誘ったことをきっかけに、両親は東京のマンションを売って、高知に移住してきたという経緯がある。そうすると、私には、両親に幸せな老後を送ってもらう義務がある。

2、兄

私が、埼玉で暮らしていた兄に、「私の事務所が忙しいので、高知で私の仕事を手伝ってくれないか」と誘ったことをきっかけに、兄はそれまでのキャリアを捨て、高知に移住してきたという経緯がある（現在、兄は、私の事務所の従業員である）。そうすると、私には、兄が定年するまで事務所を維持する義務がある。

3、娘

娘が私の事務所に来た時に、お菓子を山ほど娘

に食べさせたところ、「弁護士になれば毎日おいしいお菓子が食べられる」と娘が誤解したことをきっかけに、弁護士になることを目指して、毎朝5時半に起きて真夜中まで勉強するようになったという経緯がある。そうすると、私には、娘が弁護士になれるまで弁護士を続ける義務がある。

4、妻

結婚の際、私は、妻に、一生幸せに…みたいなことを言ったような気がする。そうすると、私には、妻を幸せにする義務がある。

5、自分

私が弁護士を志したのは、中学生2年生の夏休みに、障害者施設でボランティアをしたのがきっかけであった。そこで「ヨシさん」と呼ばれていた50代の男性と、大好きなプロ野球チームの話をした。また、ヨシさん以外の老若男女とも話をしたり、折り紙遊びをしたり、散歩したりした。そうしているうちに、自分の中で、障害者と健常者を区別する気持ちが消えていくのが分かった。

その後、世の中には多種多様な区別があることを知るにつれ、弁護士になって法的知識を活用し、世の中にある境界線を一本でも多く消したい、と思うようになっていった。

以上からすると、私には、弁護士を志したときの想いを実現する義務がある。

各方面からの意見を踏まえ、上記の各義務を完全に履行するためには今から25年かかる、との算定結果になった。私の仕事の辞め時も、ほぼ同じタイミングになるだろう。令和3年簡易生命表によると、男性の平均寿命は81.47年であり、25年後の自分はまだ73歳なので、大学通いも社会貢献活動も、何とか実現できそうだ。

末筆になったが、仕事を辞めるまでの間、労務管理者協議会のメンバーとして、会のために何か役に立てれば幸いである。



四国経済産業局の受託事業

当協会では、四国経済産業局の委託事業「令和4年度四国地域における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業」として、人材確保マッチング支援事業および企業の魅力発信支援事業として以下の事業を開催した。

合同企業説明会 & 面接会の開催

8月17日 高知会館において、合同企業説明会・面接会を開催した。

県内企業の人材不足が深刻になりつつある状況下で、たくさんの企業に参加申込をいただいているものの、意に反して求職者の参加は低調で企業の期待に応えられる状況ではなかった。

参加企業からは、こういった機会はありがたいので採用にすぐに繋がらなくても引き続き参加したい。参加する求職者が少しで増えるよう工夫してもらって、継続して開催してほしいとの声をいただいた。

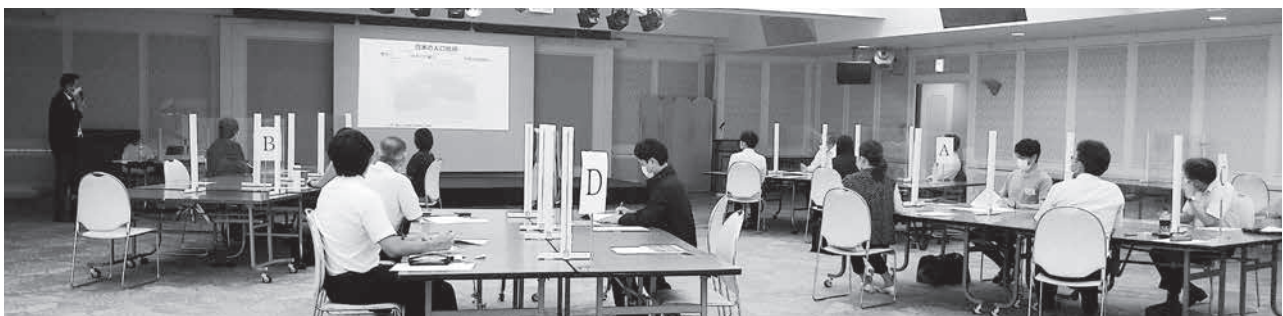


「小さな会社がWEB採用で成功する方法セミナー」を開催



8月25日 高知会館において、講師に廣瀬製紙(株)取締役・テクノヒロセ(株)代表取締役 馬 賢光明氏をお招きしてセミナーを開催した。

本セミナーは、人材不足に苦慮されている企業が、自社の魅力を発信し求職者にまず興味を持ってもらい採用に繋げるためにWEBを如何に効果的に活用すれば良いのか、WEB採用で応募者が飛躍的に増加した同社と講師が実践してきた手法を参加者に解説していただいた。参加者からは、更に詳しく知りたいと個別支援を申し出るなど、好評なセミナーとなった。





わっと驚く！ ギネス世界記録®への挑戦！

和建设株式会社 中岡 竜太郎



和建设株式会社は9/11(日)春野陸上競技場にて、とあるギネス世界記録を樹立しました。それは「1時間で押された最多足形ペイント」という記録です。この場をお借りして、本記録に挑戦した経緯や裏話を披露させていただきたいと思えます。

ある日、社長からこのような指令が下りました。「高知ユナイテッドSC(以下高知U)の冠試合をやることになった。会社のお客さまも集めて盛り上がる企画を考えてくれ」と。まずは高知Uの方に話を聞くことにしました。分かったことは「高知UはJ3昇格を目指しており、条件が揃えばJ3に上られる所まで来ている。条件の中には『主催試合の1試合平均2,000名の集客』というものがある。2019年シーズンの平均集客数は600名にも満たない!」ということでした。つまり人を集めないといけな!

そこで私は考えました。「人数を競うギネス世界記録に挑戦したらいいのではないか!」と。大人数で挑戦できて、大人から子供まで楽しめる、そしてサッカーにちなんだ記録はないものかと考えていた時、「足形アート」というアイデアが浮かびました。早速、ギネスワールドレコーズ(以下GWR)に問い合わせをし検討してもらいましたところ、「足形アートの記録はありませんが、所定の条件下で375名以上の参加があればギネス世界記録に認定しましょう」との回答が。この「所定の条件下」というものが曲者でして、記録達成まで我々を苦しめることになるはこの時点では知る由もありませんでした。

まずこの記録ですが、記録名からは想像が付きにくいのですが、1時間で足形アートに参加した最大人数をギネス世界記録とするものです(足形の数ではないのです!)

逆にいうと一人が何度押してもいいわけです。もちろんいくつ押してもカウントは1名ですが。

私も今回チャレンジして初めて知りましたが、GWRは具体的なやり方を教えてくれないのです!所定の条件のみ伝えられ、あとは全て自分たちで考えないといけません。そして、ここからが難しいポイントでした。当然ですが同じ人を2回カウントすると無効になります。「ルールに則って、最終的に何人が参加したのかを証明する方法も自分たちで考えてね」といわれます。簡単そうに思えますが、運営の中でここが一番考え、気を遣った部分でもありました。運営上、参加者而非参加者(一度参加した方含め)のコントロールができていないと見なされると即失格になるのです!我々は1~550までのゼッケンを用意することにしました。受付でゼッケンを渡し、

付けてもらう⇒足形を押す⇒ゼッケンを返却する、そしてその際に手の甲にスタンプを押す。受付時には手の甲を確認し、2度目の参加を阻止する。こういうオペレーションとしました。さて、あとはチャレンジ当日を迎えるだけ！ですが、当日含め、直前から様々な困難が待ち受けていたのです……。



▲大人から小さなお子さままで多くの方に参加いただきました



▲下絵を消しながら木に見えるように足形を押していく社員

困難 ① コロナで人が集まらない!!

ギネス世界記録挑戦告知を開始した8月上旬、世の中はコロナ第7波真つただ中！積極的な告知もできないなか、協力事業者、メディア各社、高知U、その他関係団体の皆様など、本当に多くの皆様にご協力いただきましたが、前日時点で事前申込数はわずか300名！もうキングカズの出場効果に期待し、当日来場者に賭けるしかない、という状況でした。

困難 ③ ゲスト団体を取り違え!

今回の挑戦にはゲストがいました。元日本代表サッカー選手の佐藤寿人さんと元サンフレッチェ選手の清水航平さんです。そして彼らが主催するサッカー教室に参加する小学生たちを特別受付し、挑戦エリアに誘導する運びとなっていました。しかし、受付で別の小学生団体を受け付け、場内に通してしまったのです！なんとか事なきを得ましたが、受付と挑戦エリアは大騒ぎ。非常に心臓に悪いミスでした。

困難 ② 絵が木に見えない!

この挑戦は足形でひとつの絵を完成させなければなりません。そしてその絵は「誰が見ても〇〇」といえるものでないと挑戦成功とはなりません。挑戦4日前のことです。ギネス社との打ち合わせの中で、ある人が「このデザイン、木に見えないことない?」と言いました。するとGWRの方が「よく言ってくれました。私たちそういう指摘はできないので」と。その直後から突貫工事でのデザインを変更が始まったのです。

困難 ④ 絵の下書きが消えない!

当然ですが、絵は全て足形で、できていないといけません。絵の下書きを書くことは許されていましたが、下書きは絵が完成したときに全て消えていないと失格になるのです！下書きは鉛筆で書いていたのですが、足形越しにうっすら浮かび上がってくるのです。ひとりが何度でも足形を押して構いませんので、後半は社員数名でひたすら下書きの上を何重にも踏み続けました。

さて、そんな困難を乗り越え、迎えたハーフタイム。いよいよ結果発表です。

「469名でギネス世界記録達成です！」公式認定員の声で春野陸上競技場内に響いた瞬間、私はほんと胸をなで下ろしました。本当に多くの皆さまにご協力いただきおりましたのでこの挑戦は絶対に成功させないといけなかったのです。心から落ち着いた瞬間でした。これで眠れぬ日々が終わりました。挑戦失敗の悪夢に苛まれる日々も終わりました。

さてさて、最後になりますが、我々が描いた絵のイメージは「木」。なぜ木を描いたかを最後にお伝え

して、筆を置きたいと思います。私たちは家を建てる仕事をしています。手がける住宅の多くは木造です。つまり森から資源をいただいで仕事をしています。ということはしっかりと森に還元しなければなりません。そう考えるようになり、今年の7月に仁淀川町と協働の森パートナーズ協定というものを結び、森林の保全活動をしていくことになりました。自分たちの仕事をサステナブルにしていくために、高知県の森林保全を進めるとともに高知県産木材の利用促進に力を入れていく！そういう決意の木の絵なのです！

【筆：中岡】



▲公式認定員より公式認定証を受け取った中澤社長



▲元日本代表サッカー選手の佐藤寿人さんと元サンフレッチェ選手の清水航平さんとの記念撮影

今回のプロジェクトにご協力いただいた皆さま全てに感謝いたします。ありがとうございました！



口頭での合意退職が有効と判断された例

A病院事件

札幌高裁（令和4年3月8日判決）

■ 事案

原告Xは、被告A病院との間で平成19年4月1日に期間の定めのない労働契約を締結し、臨床検査技師として業務に従事していた者である。令和元年12月5日、事務部長が原告と面談し、原告の非違行為が判明したこと、及び、「懲戒処分を予定しているが、原告が自主的に退職するならば懲戒処分はしない」との趣旨の内容を告げた。これに対し原告は「退職させていただきます」と発言した。

同発言を受けて、被告が原告に12月20日までに退職願いを送付するよう依頼したところ、原告は12月19日付の書面にて、代理人を通じて本件発言を撤回する旨を通知した。これに対して被告は、本件面談時に合意解約申し込みへの承諾がされており、既に合意解約が成立しているとして、令和2年1月20日付で原告が退職したものと

して諸手続をした。

原告は、退職願の提出に至っていないこと等を挙げて、本件労働契約は合意退職により終了していないとして、労働契約上の地位確認を求めると共に、被告が退職手続を取ったことが不法行為に当たるとして損害賠償等を求めて提訴した。

一審（札幌地裁）は、本件労働契約は終了していないと判断して地位確認等を認め、また不法行為に基づく損害賠償の請求の一部を認容した。これに対し、原告と被告の双方が控訴した。

■ 判示事項

一審原告が、本件面談の際に、退職する旨を述べるにとどまらず、退職することを前提とした打ち合わせを行ったり、一審原告が退職することをその上司に伝えると事務部長が述べたのに異議を述べな

かったり、本件面談の後にも、退職することを前提とする行為を行っていることに照らせば、本件面談の際に一審原告が述べた「退職指していただきます」との発言は、退職を考えているという趣旨の発言にとどまらず、確定的な退職の意思に基づいてされた、本件労働契約の合意解約の申込みの意思表示であると認めるのが相当である。したがって、一審原告の地位確認請求、及び、退職手続を取ったことに関する損害賠償請求には理由がない。

よって、原判決中、一審被告敗訴部分を取消し、取消部分に係る一審原告の請求をいずれも棄却するとともに、一審原告の控訴を棄却する。



【経団連労働判例速報第2482号より】

会議・セミナー等			
9月 7日	政策委員会	10日	最低賃金審議会 専門部会
		12日	最低賃金審議会 専門部会
		15日	最低賃金審議会 本審
		16日	高知市個人情報保護運営審議会
		18日	高知県農商工連携協議会
			労働委員会
		28日	労働委員会 (あっせん)
		29日	高知県少子化対策推進県民会議ワークライフバランス部会
		31日	最低賃金審議会 本審 (異議審議)
		9月 1日	労働委員会合同研修会 (2日まで)
		7日	高知市雇用創出促進協議会
		8日	特定最低賃金審議会 小委員会
		12日	特定最低賃金審議会 本審
		13日	幹事会 (経団連)
			地方への人の流れの創出に関する政府施策 についての説明会 (経団連) (オンライン)
		15日	労働委員会
		16日	高知県少子化対策推進県民会議
		21日	子ども教育サポート賞選考委員会
		22日	内外情勢調査会懇談会
		26日	高知県共同募金会 配分委員会
			労働審判員研修会
		27日	高知市男女共同参画推進委員会
			高知市個人情報保護運営会議
		28日	地方・業種団体情報連絡会 (経団連) (オンライン)
		29日	四国経済産業局委託事業四国ブロック会議
		30日	高知市シルバー人材センター理事会
			高知地域産業保健センター運営協議会
青年経営者部会			
8月28日	第33回親睦ゴルフコンペ		
9月28日	50周年セレモニー委員会		
29日	全国大会IN岐阜 (30日まで)		
労務管理者協議会			
8月 5日	8月例会		
9月14日	9月例会		
四国地域における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業			
8月17日	合同企業説明会&面接会		
25日	小さな会社がWEB採用で成功する方法セミナー		
一体的実施事業			
8月12日	高知県U・Iターン就職相談会		
会議等出席			
8月 1日	第2回連続テレビ小説を生かした博覧会推進協議会		
	最低賃金審議会・全員協議会・本審・専門部会		
3日	職業能力開発協会理事会・臨時総会		
4日	最低賃金審議会 専門部会		
	労働委員会		
5日	最低賃金審議会 専門部会		
8日	最低賃金審議会 専門部会		
	労働委員会		

新 入 会 員 ご 紹 介

～ご入会ありがとうございます～

- 株式会社一や 代表取締役 **山本 真嗣氏** (衣料品販売・飲食店経営)
〒780-0841 高知市帯屋町1-10-18 TEL 088-823-2638 FAX 088-823-3265
- 株式会社藤森運送自動車整備 取締役社長 **藤森 晃氏** (九州～名古屋間の長距離輸送)
〒783-0094 南国市前浜1543-2 TEL 088-865-6125 FAX 088-865-6136

編集後記

今月号のトップインタビューに登場いただいた「株ミットヨ」の前身「高知ミットヨ」さん、随分前になりますが、私は実家に帰省するときに七子峠から大野見村を経由していたのですが、その道中、川向こうに大きな工場があるなど何気に見ていたことを、懐かしく思い出しました。今月号に久しぶりに

私事通信が掲載されました。なかなか投稿がなかっただけに大変ありがたかったです。厳格な認定手続きを経て、ギネス世界記録達成おめでとうございませう。様々な分野でギネス世界記録があるのだとあらためて感心したことでした。もちろん高知ユナイテッドSCのJ3昇格を応援しています。

さて、歳のせいか1年経つのが本当に早く感じて、はや師走を迎えようとしています。今年もコロナ、コロナで明け暮れましたが、ちょっと気が早いですが来年はコロナの呪縛から解放され安心・安全で過ごせる年になりますように。1年お付き合いいただきありがとうございました。(沖)

出向・移籍で築く 人と企業の安心ネット



公益財団法人産業雇用安定センターは、昭和62年3月、政府の30万人雇用開発プログラムの一環として、労働省(当時)と経済・産業団体の協力により出向・移籍の専門機関として発足しました。当センターは経済・産業団体、厚生労働省との密接な連携の下に「失業なき労働移動」の課題に取り組み、その実現をめざし、全国的なネットワークで出向・移籍のあっせん等に努めています。



出向・移籍支援事業 (人材の送付・受入)

全国47都道府県に地方事務所を設置し、全国ネットを通じて出向・移籍(転籍)についての相談、人材情報の収集及び提供を行っています。

セミナー事業(有料)

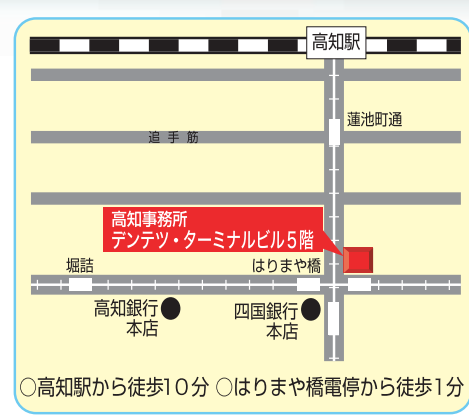
再就職を考えている方を対象とする再就職支援セミナー、企業の人事担当者等を対象とする人事労務管理セミナーを開催しています。

お問い合わせ先

公益財団法人 **産業雇用安定センター**
高知事務所

〒780-0822 高知市はりまや町1丁目5-1 テンテツ・ターミナルビル5階
TEL 088-861-3011 FAX 088-861-3013

ご利用時間 9:00~17:15(土・日・祝日は除く)



右記ホームページで求人情報を提供しています。

URL <http://www.sangyokoyo.or.jp/>